

三水会会報

北里大学水産学部
同窓会会報
第 36 号

平成10年9月1日発行

編集者 川添一郎

発行 三水会（北里大学
水産学部同窓会）

事務局 〒246-0031 神奈川県横浜
市瀬谷区瀬谷5-22-1

☎045-303-3135

振替口座 第一勧業銀行
大手町支店
008-1182388

水産放浪歌

（口上）

古き名門の女性に恋すると、誰が純情の恋と言おうぞ

暗き光燈（こうとう）の港に働く女性に恋すると、誰が不浄の恋と言おうぞ月下の酒場に媚びる女性にも水連の如く純情可憐なるものあれば酒は飲むべし、女は買（こ）うべし
酔うて翌朝美人の膝枕に一夜の快楽（けらく）を過ごさんば

人生夢もなければ恋も無し

轟く雷鳴、操る舵輪、現くコンパス六分儀
ああ、我ら海ゆく鴉鳥（かもめどり）、明日の日を誰が知ろうぞ

さらば歌わん、我ら北里大学水産放浪歌

（前奏） 生きて帰らじ、望みは持たず

一、心たけくも海神（うみがみ）なれど、男と生まれて情けはあれど母を見捨てて波のりてゆく、友よ兄（けい）らよいつまた会える
二、朝日夕日をデッキに浴びて、続く海原ひとすじ通す

大和男子（やまとのおのこ）が心に秘めて、行くや万里の荒波越えて

三、波のただよう南水洋は、男多恨（たこん）の身の捨て所
胸に秘めたる大願なれど、生きて帰らじ望みは持たず

生きて帰らじ望みは持たず

平成10年度三水会定期総会

- ・ 報告
- ・ 新規事業「すべての研究室にOB会を」
- ・ 平成9年度決算および平成10年度予算

北里大学三水会規約

OB会だより

- ・ 環境・生態学研究室 （1期生・玉置研二）
- ・ 関東地区会員親睦会 （10期生・中野清隆）

若手研究者奨励金を受賞して（18期生・雨宮 裕）

見たい、知りたい、話したい

- ・ OB会のお知らせ
- ・ 住所不明会員
- ・ 水産微生物学研究室
- ・ 計報
- ・ 北海道地区親睦会
- ・ 事務局からのお知らせ

平成10年度三水会定期総会報告

(事務局)

平成10年度、三水会定期総会が5月17日(日曜日)午前10時30分より、白金校舎E号館8階会議室において開催された。理事、代議員50名中45名が出席(内、委任状出席者10名)しました。

総会では、中村 栄理事(9A)が開会宣言をし、議長に佐藤敏行氏(3F)を議長録署名人に石川義行氏(1F)と奥村誠一氏(5A)を選出しました。続いて、長谷川一敏会長(3A)が「三水会運営に対する役員および会員の協力に感謝する」と挨拶を行い、その後、伴 圭司監事(1A)が監査報告を行いました。議事に入り、町野 至企画担当理事(4A)が平成9年度事業報告と平成10年度事業計画の説明を行い、西尾 徹予算担当理事(14F)が平成9年度収支決算と平成10年度予算を説明しました。総会に提出された議案は原案通り承認されました。また、今回の総会では18年ぶりに三水会規約の改正が行われ、現行では行われていない「会員の会費納

入」「常任理事会」等の箇所が削減されました。今後も会員から提出されます意見や要望は執行部で慎重に検討してまいります。

総会閉会后、高橋明義理事(5F)水産学部海洋分子生物学研究室勤務に「三陸、水産学部の現況」と題し、昨今の三陸の様子を、浦浜から大学まで、建物や人物のスライドを交えて、講演して頂きました。懐かしい建物や人に学生時代を懐古する反面、様変わりした風景に驚きの声も聞かれました。出席者の方々には、大変に好評を博し、来年度の講演以来も頂きました。

新規事業

「すべての研究室に

OB会を」

三水会では、同窓会活動の活性化を柱とする会員の交流および親睦会

等の参加を身近なものにすべく、環境作りを考えております。その一環として「すべての研究室にOB会」を目標に今年度より、新事業として導入しました。各、研究室OB会設立促進に伴う、5万円の特別助成を行います。

尚、同期会、クラブOB会、地方親睦会等、会員の集会費用の一部を助成する制度も引き続き行っておりますので、ご利用下さい。10名以上の集合で申請しますと、1万～3万の助成金が受けられます。お問い合わせは、OB会特別助成、集金助成のどちらでも三水会事務局まで。

TEL 〇四五―三〇三―二三五
FAX 〇四五―三〇三―二三五

平成9年度決算および平成10年度予算は次頁の通りです。



(平成10年三水会定期総会)

平成10年度予算

平成9年度収支決算書

支出の部		収入の部		支出の部			収入の部		
科 目	予算額	科 目	予算額	科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
1. 事業費	2,990,000	1. 部会助成費	4,365,000	1. 事業費	3,320,000	2,920,327	1. 部会助成費	4,560,000	4,560,000
(1) 会報発行費	1,400,000	2. 前年度繰越金	1,255,837	(1) 会報発行費	1,300,000	1,270,264	2. 前年度繰越金	851,619	851,619
(2) 学部だより配布費	240,000			(2) 学部だより配布費	220,000	221,445			
(3) 同期会等助成費	200,000	3. 預金利息	10,000	(3) 同期会等助成費	100,000	68,000	3. 貯金利息	10,000	17,062
(4) 親睦会費	500,000			(4) 親睦会費	1,000,000	819,358			
(5) 大学・学生懇談会費	150,000	4. 雑収入	150,000	(5) 大学・学生懇談会費	250,000	62,840	4. 雑収入	330,000	494,340
(6) 学友会助成費	200,000			(6) 学友会助成費	200,000	200,000			
(7) 就職ガイダンス費	250,000			(7) 就職ガイダンス費	200,000	228,420			
(8) 漁船海難遭児育英会寄付	50,000			(8) 漁船海難遭児育英会寄付	50,000	50,000			
2. 運営費	2,320,000			2. 運営・管理費	2,095,000	1,803,919			
(1) 印刷・通信費	230,000			(1) 印刷・通信費	225,000	197,704			
(2) 会議費	570,000			(2) 会議費	570,000	447,471			
(3) 総会費	280,000			(3) 総会費	250,000	166,040			
(4) 事務局費	1,090,000			(4) 事務局費	900,000	933,678			
(5) 慶弔費	50,000			(5) 慶弔費	50,000	30,000			
(6) 外渉費	100,000			(6) 外渉費	100,000	29,026			
3. 予備費	543,775			3. 予備費	336,619	1,198,775			
				(1) 次期繰越金					
合 計	5,853,775	合 計	5,853,775	合 計	5,751,619	5,923,021	合 計	5,751,619	5,923,021

北里大学三水会規約

第1章 総則

第1条 本会は、北里大学三水会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、北里大学水産学部並びに北里大学同窓会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1、会員相互の交流および親睦に関する事業。
- 2、会報の発行に関する事業。
- 3、講演会、講習会、その他の集会に関する事業。
- 4、その他、前条の目的を達成する為に必要な事業。

(事務所)

第4条 本会は、事務所を横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1(石井宅内)に置く。

第2章 会員

第5条 本会は、次の会員で組織する。

- 1、正会員 北里大学水産学部卒業生
- 2、準会員 北里大学水産学部学生
- 3、特別会員 北里大学水産学部現教職員および理事会が推薦した旧教職員並びに大学院終了者
- 4、賛助会員 本会の趣旨に賛成し理

事会の承認を得た者

5、名誉会員 本会および学部の発展に寄与した者で理事会が推薦し、総会で承認を得た者

(名誉会長および顧問)

第6条 本会に、名誉会長および顧問を置くことができる。

1、名誉会長および顧問は、理事会の議決を経て総会で推挙する。

第3章 役員および代議員

(役員)

第7条 本会に、次の役員を置く。

- 1、会長 1名
- 2、副会長 2名
- 3、理事 15名以上20名以内(会長および副会長を含む)
- 4、監事 2名

(役員の選任)

第8条 理事および監事は、代議員の中から互選する。

1、会長および副会長は、理事の中から互選する。

2、理事および監事は、相互に兼務することはできない。

(役員の職務)

第9条 理事は、理事会を構成し、会務を執行する。

1、会長は、本会を代表し、その会務を統括する。

2、副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を行う。

3、監事は、会計および事業の監査を行う。

(代議員)

第10条 本会は、正会員より選任された

代議員を置く。

1、代議員の定数は50名以内とする。

(代議員の選任)

第11条 代議員は、会員から推薦があつたものを理事会の議決を経て総会で選任する。

(役員および代議員の任期)

第12条 役員および代議員の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

1、補欠又は増員による役員および代議員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(任期満了又は辞任)

第13条 任期満了又は辞任により、理事および代議員を欠くに至つた場合は、辞任した理事および代議員はその後任者が就任するまでは、その職務を行うものとする。

(役員および代議員の解任)

第14条 役員は、次の号に該当するときは、理事会において出席理事の4分の3以上の賛成をもってその役員を解任することができる。

1、心身の故障のため、職務の執行に耐えられないと認めるとき。
2、職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(職員)

第15条 本会の事務を処理するため、職員を置くことができる。

第4章 会計

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計)

第17条 本会の会計は、会費収入(北里大学同窓会学部還元金、親睦会費)、寄付金及びその他をもつて運営する。

(事業報告書及びその他収支決算書等)

第18条 会長は、毎会計年度終了後、遅滞なく、次の書類を作成して、その監査を受けなければならない。

(1) 事業報告書
(2) 収支決算書
(3) 財産目録

1、監事は、前項の書類を受理したときは、これを監査し、監査報告書を作成して、総会に提出しなければならない。

2、会長は、上記の書類および監査報告書を、理事会の議決を経て、これを総会に提出しなければならない。

第5章 会議

(会議)

第19条 会議は定期総会、臨時総会および理事会とする。

1、総会は、毎年五月中に開催し、次の事項を審議決定する。

(1) 役員の選任
(2) 前年度の事業報告
(3) 前年度の収支決算
(4) 当年度の事業計画
(5) 当年度の収支予算

(6) その他必要事項

2、臨時総会と理事会は必要に応じて会長が召集する。但し、役員又は代議員の3分の1以上の要求があつた場合は、会長は速やかに臨時総会、理事会を開催しなければならない。

(総会)

第20条 総会の構成および運営は次の通りとする。

1、総会は役員および代議員を以て構成する。但し、会員は出席して意見を述べることができる。

2、総会の開催は、役員および代議員の3分の1以上の出席を必要とする。

3、総会の議長団は、構成員より選出する。

4、総会の議決は、構成員の過半数による。但し、可否同数のときは、議長が決定する。なお、規約の変更は、別章に定められた方法によるものとする。

5、役員および代議員は、書面を以て議決権の行使を他の構成員に委任することができる。

6、特に緊急を要するときは、役員および代議員の書面表決を以て総会に代えることができる。

(理事会)

第21条 理事会は、会長、副会長、理事を以て構成する。

1、理事会の開催は、その構成員の3分の1以上の出席を必要とする。
2、理事会に出席できない理事は、他の理事にその権限を委任すること

ができる。

3、理事会の議決は、出席者の過半数による。

(議事録)

第22条 すべての会議には、議事録を作成する。

1、総会の議事録は、議長団の署名押印の上、これを保存する。
2、理事会および常任理事会の議事録は、議長および出席者の代表1名の署名押印の上、これを保存する。

第6章 改正

(改正)

第23条 規約の改正は、理事会の過半数賛成を得てこれを発議し、総会の3分の2以上の賛成を以てなされる。

第7章 雑則

(委任)

第24条 この規約に定めるものの他、この本会の事業の運営に必要な事項は、北里大学同窓会の内規に照し、理事会の議決をもって行う。

附則

この規約は、昭和55年5月31日より施行する。

平成10年5月17日改正

環境・生態学研究室OB会に参加して

(1期生 玉置 研二)

「あのスーツを着たおじさんのいる建物に入った奥にあるよ。」二十数年ぶりに訪れた北里大学白金キャンパスの守衛さんに教えられて入ったのが本館食堂。すでに老境の域に達していると思われる守衛さんに「おじさん」と名指しされたのが十歳以上年下の後輩とわかるのはそれから数分後のことでした。これを読んでるキミ!!そう、君のことです。この前にここに来たのは何時だったろうか、久し振りの白金は大きく変わったようでもあり、昔を保っているようでもあり、新しいものを見る好奇の目と昔を求める懐古の目とを交互にしながらキャンパスに入っていました。

五月三十日、梅雨に入るにはまだ少し間のある晴天の日曜日、環境生態学研究室OB会がこの本館食堂で開催されました。すでに会場には大勢の仲間たち。知ってる顔を捜し出すのも一苦労。一期生である私は先輩がいらない分それだけほかの人より顔が狭いわけで、こういう時だけは

一期生の物足りなさを感じることもあります。とはいえ、会場に集まった人々の中に、いました、いました、当時とほとんど変わらない風貌でこやかに談笑している下村先生。一期生の目から見るとずいぶん禿げ上がった井田先生。そして朝日田先生は後輩との由。三人の先生方と数十人の仲間たちで乾杯。しかしこの会場に熊谷恵子さん(現姓 余語さん)



(環境・生態学研究室OB会)

の姿がなかったのを残念に思ったのは私ばかりではなく彼女を知る全員が思いだったことでしょう。(彼女は当研究室の助手でした。)各方面で活躍する同窓生の話を聞きながら指を折って計算してみると、一年間に約二十人の研究生を輩出するとして今年卒業した二十三期生まで約四六〇名の環境生態学研究室のOBが全国にいることになります。もちろんほかの研究室でも同じでしょうがこの五〇〇に近い数の仲間が全国にいてというのは初期の少ない人数の大学を知っているものには驚異の数字にさえ思えてきます。「数は力」の原理からすればいよいよ力をつけてきたことになります。会の半ばになり誰かの音頭で自己紹介が始まりました。何等かの形で水産に関係している仕事が多い中でやはり一見違う方面の仕事の人に印象が強く残るものです。鍼灸師もいたしフリーターもいた、家に帰ってから家にあるインジンを見ては明治製菓がいたとか、女房が掃除しているのを見てはダスキンに勤めていて〇一二〇番―〇〇番で言っていた女性もいたな、なんて思い出しています。いろいろな方面で活躍する同窓生。こうやって一人一人の話を聞いてい

ると本当にたくさんの方が下村、井田、朝日田先生をはじめとする各先生のもとから巣立っていったんだなと実感させられます。今や私は大學生の息子を持つオヤジです。今の息子の年齢を北里で迎えました。そして今の私の年齢は当時の井田先生よりも上でしょう。息子とのほうがずっと近い年齢の後輩とも数多く達しました。が不思議なことにそこには世代の差を感じるよりも仲間としての連帯感のようなものを強く感じました。そう思うのは私だけなのかもしれません。でもこれが同じ三陸での生活を経験した仲間意識なのだと自分勝手に解釈してこの会場を後にしました。初めて逢う顔、顔、顔。そして多分その中には二度と逢うことのない顔も数多くあるでしょう。でもそのどれもがとてもいい顔をしていました。またいつか同じいい顔で逢いたいものです。

最後にこの会を企画立案し開催に骨を折ってくださった中村栄氏そして事務局の石井ご夫妻をはじめとするかたがたに感謝しこの拙い文章を締めくくらせていただきます。本当にありがとうございました。

平成10年関東地区親睦会に参加して

(10期生 中野 清隆)

さる7月25日、神奈川県裏丹沢にある神之川キャンプ場にて1998年関東地区、三水会懇談会が、退官

なされてなおいっそうお元気そうな小林先生もご参加いただき、釣大会、魚つかみ取り大会、スイカ割等が盛大に行われました。この日は天気予報によれば、雨の確立が高いあいにくの天候になる予報でしたが参加者全て人の日頃の行いが良いのかは不明ですが、雲がおおいながらも日がのぞき、朝方小雨程度で収まり夏のアウトドアフィールドにふさわしい会合になりました。

参加人数は、過去最高の人だそうです。会場になったキャンプ場は大人から子供まで楽しめる溪流釣場、水辺まさに最高のオアシス。夏のほてった手足を冷たい流れにさらす快感はかなりクセになる。水もきれいで子供達の遊び場に最適、魚釣りや水生昆虫を探して自然観察、河原の石や流木を拾うビーチならぬリバーコーミング、岩場をピョンピョン跳ね回るだけでもおもしろい。川で泳

ぐ子供あり、遊びはつきないようである。

また、自然の中で食べる料理は、どんなものでもオイシイ。しかし、用意されていたのは魅力的な料理で全ての参加者が満足しうるものであった。ただ天候の関係で、アウトドアの醍醐味であるところのバーベキューが中止になったのが残念。魚ぎ



らいでも自分で釣り上げて焼いた魚は不思議とウマイ。スパイスが自然だからできるマジックなのである。

千葉県在住で、仕事場は銀座の自分は、大のアウトドアフリーク。休日ごとにキャンプはもちろん、大好

漁獲高賞と大物賞

大人の部では漁獲高賞と大物賞を、子供の部ではつかみ取りによる漁獲高賞を、それぞれ設け受賞させて頂きました。

各受賞者は以下の通りです。

大人の部

漁獲高賞

- 1位 田中一彦氏 (4期生)
- 2位 河村尚之氏 (6期生)
- 3位 戸塚和弘氏 (7期生)

大物賞

沼田隆善氏 (2期生)

子供の部

- 1位 福田くん
 - 2位 畠山くん
 - 3位 道川くん
- 以上です。参加されました皆様お疲れ様でした。

きなフライフィッシングをしたり、トレッキングしたり、マイペースで野外生活をたのしんでいる。しかし、初めて参加させていただいて感じたことは、年に1、2度大学OB、OGと大勢で楽しい時間を過ごすのもたまにはいいものだと感じました。何の気兼ねも要らず受け入れていただきました。またぜひ、機会があれば気軽に参加したいと思います。最後に、三水会会長、並び幹部のかたがたにお礼を申し上げて終わりに致します。

(神之川キャンプ場にて)



若手研究者奨励金を受賞して

(18期生 雨宮 裕)

この度は、北里大学同窓会若手研究者奨励金をいただきまして、誠にありがとうございます。同窓生諸兄ならびに関係諸氏の方々に対し厚く御礼申し上げます。

私はこの3月に北里大学大学院水産学専攻博士課程を修了し、現在は日本学術振興会特別研究員として、海洋分子生物学講座の川内浩司教授のもとで在学中からの研究を続けております。この場をお借りいたしまして、これまでの研究を簡単に紹介させていただきます。

脊椎動物は中枢―神経分泌―内分泌系の情報伝達によって、ストレスを補償し、環境に適応しています。すなわち、内分泌系の中心器官である脳下垂体から分泌された、副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)、黒色素細胞刺激ホルモン(MSH)およびb-エンドルフィン(END)が、ストレスの緩和や解消に中心的な役割を演じます。これらの環境適応に関与するホルモンは、全て共通の前駆体である、プロオピオメラノコル

チン(POMC)遺伝子にコードされています。したがって、ストレスの緩和と適応の機構を解消するためにはPOMC遺伝子の研究が不可欠であります。しかし当初、魚類POMCの構造は、サケ科でのみ明らかになっていくに過ぎませんでした。

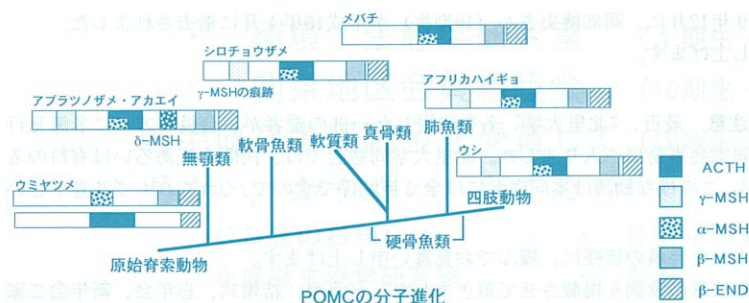
そこで、我々は、脊椎動物が進化の過程で獲得した環境適応機能を解明するため、系統進化上重要な位置にある魚類のPOMCの構造を明らかにして、その分子進化を考察しました。図に示すように、全てのPOMCにはACTHとb-ENDが共通に含まれています。しかし、MSHの数は、四肢動物では3種類(a、bおよびg)であるのに対し、魚類では硬骨魚類、軟骨魚類、および無顎類ごとに異なっていました。特に、軟骨魚類では他の動物には見られない第4のMSH(d)が存在します。また、最も原始的な脊椎動物である無顎類では、ACTHとMSHが別々の前駆体に分かれて存在していることを明らかにしました。こ

のようなPOMCの構造の多様性は、魚類が適応に関与するホルモンの遺伝子を様々に組み換えながら優れた適応能力を獲得して進化した結果であると考えられます。

このようにPOMCの構造および分子進化に関する研究が発展したのに対し、魚類におけるPOMC由来ホルモンの活性に関する研究は、未解決な点が多く残っています。特に、水産増養殖における飼育環境下でのストレスは、魚類の成長率、生殖能および耐病性を著しく低下させることが良く知られています。したがって、生残率、成長率ならびに耐病性を高め、優良な種苗を生産するためには、POMC由来ホルモンの機能の解明が、これからの重要な研究課題であります。

一方、我々は祖先型POMCの構造に関する考察を深めるために、分類学上脊椎動物の下位に位置する原始動物ホヤおよびナメクジウオのPOMC DNAクローニングに取り組んでいます。ホヤやナメクジウオには脳下垂体はありませんが、脳下垂体の祖先型であると考えられている器官が存在します。今のところ、この器官から脳下垂体ホルモンに相同な分子は固定されていません。こ

の器官からPOMC遺伝子を同定することは、結果的に脳下垂体の起源を解明することを意味します。最後になりましたが、三水会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を祈念致しまして、稿を終わらせていただきます。



見たい 知りたい 話したい

OB会の御案内

●水産微生物学研究室OB会設立と開催のお知らせ

昭和51年9月に野村節三教授が赴任、開設された水産微生物学研究室は、307人の卒業生を送り出し、現在19人が在籍しております。また、先生におかれましては、平成11年3月にご退官を迎えられます。

これを機に、先生のご指導に感謝すると共に、研究室卒業生の皆様の交流・親睦を深めたく、研究室OB会を設立致します。

当日は、野村先生をはじめ、現在研究室でご活躍中の緒方先生・小池先生をお招きし、下記により開催致します。OBの皆様には、お誘い合わせの上、是非ともご参加下さい。

記

日 時：平成10年11月7日（土） 午後3時より

場 所：白金校舎 北里本館

会 費：10,000円（夫婦、子連れでの場合も同額）

内 容：午後3時～3時30分（2F 大会議室）

OB会設立総会、野村先生の基調講演と、三陸の現況について

午後4時30分～（1F 学生食堂）

懇親会

申し込み、問い合わせ先：

佐藤 敏行（第3期） F A X : 0256-38-3227

黒沢 明（第10期） F A X : 03-3362-5272

中山統一郎（第14期） T E L 03-3409-3946

●北海道地区親睦会

来年、札幌において北海道地区親睦会を下記により開催致します。当日は、前水産学増養殖研究室教授橋高先生、元微生物学研究室助手斉藤先生もご出席なされます。また道外の方の参加も大歓迎です。スキーなどをかねてご参加ください。OBの皆様には、お誘い合わせの上、是非ともご参加下さい。

記

日 時：平成11年1月23日（土）午後4時より

場 所：札幌東急ホテル 札幌市中央区北四条西4丁目 T E L 011-231-5611

会 費：7,000円

*1：2次会（会費3,000円ぐらいで、人数により設定）

*2：宿泊希望の方（シングル お一人12,300円（税別）、ダブル お一人11,400円（税別）、連泊などもご相談に応じます）

申し込み、問い合わせ先：

柳沢（旧姓 武田）明美（7期生）TEL/FAX：011-836-0027

E-mail：Y-AKEMI@dp.u-netsurf.ne.jp

住所不明会員

前号で掲載させて頂きました、住所不明会員の方々の現住所をお知らせ頂き有難うございました。ご協力頂きました、先生方、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。尚、11期から20期までの住所不明会員の氏名は次号に掲載させて頂きます。

訃報のお知らせ

谷口和之さん（19期）がH9年12月に、岡部博史さん（18期生）が平成10年1月に逝去されました。

謹んで御冥福を、お祈り申し上げます。

事務局からのお知らせ

会員名簿の詐欺的勧誘に御注意 最近、“北里大学”名を使用した一部の業者が、会員の方々に名簿発行の勧誘をしているとの苦情が同窓会事務局へ入りました。北里大学同窓会では、民間委託あるいは有料の名簿発行は一切致しておりません。この様な勧誘は本同窓会には全く無関係ですので、くれぐれもご注意ください。

編集後期

台風の影響で災害に遭われました会員の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

本号では、お馴染みの水産放浪歌の歌詞を掲載させて頂きました。どうぞ、結婚式、忘年会、新年会ご家庭でご利用下さい。